

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|-----------------|-----|--------|-------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス ばれっと | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年 2月 10日 | | ～ | 令和8年 2月 21日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 19人 | (回答者数) | 14人 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年 2月 10日 | | ～ | 令和8年 2月 21日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 4人 | (回答者数) | 4人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 2月 24日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | ・保護者様の要望をもとに個別支援計画を作成し、指導に当たっている。通所している子ども達の日々の変化や様子など、打ち合わせ、報告を指導員間で行い指導内容を考えている。 | ・スーパーバイザーの助言を頂き、就労につなげる為のからだ作りを行う、腕を大きく使った動きや、指先の動きを行っている。 また、発声、発音、呼吸などでことばにつなげた支援や、人との関わりを身につけるために集団活動で子ども同士の関わりを増やしている。 | ・支援プログラム(活動内容、行事等)を見直し、PDSAサイクルを実践し、子どもの様子に合わせた指導、子どもに寄り添った支援を行う。 ・保護者様と面談を適宜行い、対面で子どもの様子を伝える、保護者様の要望を聞くことを行う。 |
| 2 | ・通所している子どもたちの健康や発達の状態について共通理解できるよう務めている | ・保護者様と現在の子ども様子に関して聞き取りや、変化があったことを個別支援の評価に記載する等を行っている。 | ・毎月お配りしている生活表をもっと活用し、生活リズムを整えることや、睡眠に関して家庭と連携を取り支援をしている。 |
| 3 | ・子どもたちが安心して楽しく活動に参加できるよう支援をしている。 | ・子どもたちの様子を見る時間(10分～15分)を作ったり、声のかけ方を、伝え方を考えて指導を行っている。 | ・参加できる行事や、イベントを考え、子どもや保護者様への満足度を上げていく |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | ・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。 | ・コロナウィルス蔓延以降、行事を縮小したことにより地域とかわる機会が少なくなった。 | ・行事を一つづつ再開していく。 |
| 2 | ・事業所内でのマニュアル(事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等)や避難訓練等が保護者様へ周知されていない。 | ・保護者相談室に防犯マニュアルや運営規定などをファイルに入れて掲示してあるが、指導員が保護者へ説明できていない為周知できていない。 | ・HPのインフォメーションや広報等でマニュアルや、研修・訓練等の様子がアップできると良い。 事業説明会や保護者会等で防犯マニュアル・運営規定の周知を行う。 |
| 3 | ・保護者会の参加率が低い。保護者同士の交流の機会や、ご家族参加型のイベントが少ない。 | ・保護者会の実地に関して、現在月案のみでの案内になり、把握していない保護者もいる。 ・ご家族参加型のイベントが考えられていない。 | ・保護者の方が興味を持ってくれるテーマの策定。保護者室に保護者会の日程、テーマを掲示するようにする。 ・イベントを考える。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | 放課後等デイサービス ぱれっと | | | | | 公表日 | 令和8年 2月 24日 | | |
|--------------------------------------|-----------------|---|---------------|-----|-------|-------|--------------------|-----|--------|
| | | | | | | 利用児童数 | 令和8年 2月 20日 現在 19人 | 回収数 | 73.68% |
| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 13 | 1 | 0 | 0 | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 11 | 2 | 0 | 1 | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 13 | 0 | 0 | 1 | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 13 | 0 | 0 | 1 | | | |
| 適切 な支 援の 提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 13 | 1 | 0 | 0 | | | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 3 | 5 | 2 | 4 | | | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 13 | 1 | 0 | 0 | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 6 | 4 | 1 | 3 | | | |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 13 | 0 | 1 | 0 | | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|--|--|
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 11 | 0 | 2 | 1 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 13 | 1 | 0 | 0 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 11 | 0 | 0 | 3 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 10 | 1 | 1 | 2 | | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 11 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 12 | 1 | 0 | 1 | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 13 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 14 | 0 | 0 | 0 | | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 放課後等デイサービス ばれっと | | | | 公表日 | 令和8年 2月 24日 |
|---------|----|--|----|-----|--|---|-------------|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 4 | 0 | ・昨年5月よりばれっとの建物を移動。それにより、活動スペースが広がった。 | ・ワンフロアの為、グループ活動時、他グループが気になることがある。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | 0 | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | 0 | ・前年度の場所から広がった為、男子トイレ・女子トイレが分かれ使う事が出来るようになりました。 ・玄関に段差がない為車いすでも入りやすくなった。 | ・ワンフロアの為、グループ活動時、他グループが気になることがある。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 4 | 0 | ・車椅子のまま入室、退出出来る。トイレも入口まで行けるようになった。 | ・床暖房がない為、冬季は足が寒いことがある。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 2 | 2 | ・ワンフロアの為、必要な時には、保護者相談室・職員事務所を使用している。 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 4 | 0 | ・毎日会議を行い、子どもの様子や支援について振り返りを行っている。 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | 0 | ・保護者向けの評価表を登録児童の保護者全員に配布し、提出してもらっている。その後集計をとり、HPIにて反映している。 | ・回収率が約5割の為、実地期間を伸ばす、提出のご協力の声をかける等を実施していく。 ・「お気づきの点」があまり活用されていない。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | 0 | ・前日の指導の振り返りを行い、報告や、支援について会議を行っている。 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 0 | ・監査員から外部評価を受ける事で、業務改善を行っている。 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 4 | 0 | ・虐待防止セミナー・動作法などを担当の職員が受講し、研修記録を記入・ファイリングし他の指導員が見れるようにしている。 | | |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 4 | 0 | ・HPIにて支援プログラムを公表している。 | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 4 | 0 | ・アセスメント表（支援の希望・気になる点など）を記入してもらい、個別支援計画を作成している。 | ・感染症対策により保護者面談が出来ていなかった。前期、後期など保護者と面談を行い、個別支援計画を作成していく。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 4 | 0 | ・アセスメント表に基づき指導員と会議を行い、支援計画を作成。作成された支援計画を担当の指導員が読み直し指導員当るようにしている。 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 4 | 0 | ・各児童の出席ファイル個別支援計画を貼り付けすくに見れるようにして。日案に沿って支援を行い、子どもの様子、変化などを記入している。 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | 0 | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 3 | 1 | | ・計画に「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の記載が明確でなかった。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 3 | 1 | ・担当ごとのグループで活動を行い、日案に基づき支援を行っている。 | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 4 | 0 | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|--|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 4 | 0 | ・個別活動（降会支援、落ち着かない時の対応等）・集団活動（ジョギング、農作業）等を個別支援計画に反映し支援を行っている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | 0 | ・前日の様子を会議で報告、相談を行い、支援方法の確認を行っている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 3 | 1 | ・支援終了後、次の日に振り返り、打ち合わせを行っている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 4 | 0 | ・支援中、必要な事はメモをしている。 ・日案に支援結果の記入をし、次の日の振り返りの時に報告、打ち合わせを行っている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 4 | 0 | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 3 | 1 | | ・地域交流の機会が少なかった。（前橋どんべえ踊りに参加） |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 4 | 0 | ・子どもたち同士で話し合い活動を定めることを行っている。（集団活動時行うこと・調理でどんなものが作りたいかなど） | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 4 | 0 | ・サービス管理責任者が現在対応している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | 0 | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 3 | 1 | ・送迎時、子供の様子や部活の確認など、情報の共有を行っている。 | ・学校行事とイベントが重なってしまったことがあった。（一越マラソン）3か月前には行事の確認を各学校に聞き取り予定を立てるようにする。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 1 | 3 | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 4 | 0 | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 3 | 1 | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 0 | 4 | | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 2 | 2 | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 4 | 0 | ・降会時に活動で変化があったときには報告、モニタリング時、子どもの様子を伝える・保護者からも自宅での子供の様子などを聞き取っている。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 1 | ・月1回、保護者相談会を開催し、テーマについて話をしている。 | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 4 | 0 | ・事業説明会にて契約書を配布し、利用者負担や、運営規程など明記している。 ・支援プログラムをHPに記載している。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 4 | 0 | ・保護者から要望を個別支援計画に記載する、子ども本人からも聞き取りを行っている。 | ・保護者面談を行い、要望や気になる点などを聞き取り支援計画に活かすようにする。 |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 4 | 0 | | ・感染症対策により保護者面談が出来ていなかった。計画作成後も、保護者から気になる点やわからない点の聞き取りを行うようにする。 |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 4 | 0 | ・保護者から相談を受けた場合、指導時間外で面談を行うことを行っている。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|---|---|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 2 | 2 | ・月1回、保護者相談会を開催し、テーマについて話をしている。 | |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 4 | 0 | ・お気づきの点に関しての紙を配布し、ご指摘があれば、指導員で会議を行い対応している。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 4 | 0 | ・毎月月案を配布・HPに掲載。 ・変更があった際には、保護者から見るところに掲示する、別紙にてお伝えをしている。 | ・週一登会の方に関しては電話にてご連絡することがある。変更がある場合、早めにお伝えするようにする。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 4 | 0 | ・個人情報を持ち帰らない事を指導員で徹底している。メモ等で名前が記載されているものを処分するときには裁断している。 | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 4 | 0 | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 1 | ・施設公開を年に1回行っている。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | 0 | ・保護者相談室にて、防犯マニュアルを設置している。避難訓練を年2回（火災）年1回（水害・不審者）を行っている。 | ・防災訓練の周知が保護者へ伝わっていない。月案や掲示などで周知するようにする。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | 0 | | ・月一回の全体部署での会議後、BCPに関して連絡、研修を行うようにする。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 4 | 0 | ・緊急受診票を保護者から記入してもらい、指導員間で周知するようになっている。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | 0 | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | 0 | | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 4 | 0 | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 4 | 0 | ・ヒヤリハットがあった際には紙に記入、対策等を記入し再発防止に取り組む。安全対策委員会にて報告、全部署で共有するようになっている。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 4 | 0 | ・虐待防止に関する研修に参加し、報告書に内容を記入、研修ファイルに保管し指導員間で共有している。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 4 | 0 | ・身体拘束を行った時間、理由を記入し、その都度保護者からサインを貰うようになっている。 | | |